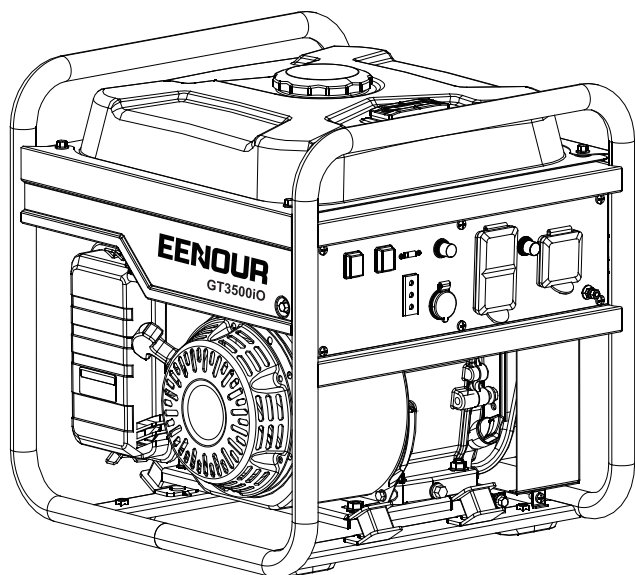


# EENOUR



## インバーター発電機GT3500iO

ユーザーマニュアル

# 概要説明

インバーター発電機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。製品を使用する前に、このマニュアルを熟読し、マニュアルにある指示に慎重に従ってください。ご自身と周りの他者の安全を確保でき、本品のご購入も長い間に渡って満足のいくサービスを提供することを期待できます。



**重要事項** —この機器を使用する際に、このユーザーマニュアルを熟読し理解してください。

## CONTENTS

安全情報 .....	2
コントロール機能 .....	4
運転前の確認 .....	6
操作 .....	8
定期メンテナンス .....	11
トリブルシューティング .....	15
保管 .....	16
仕様 .....	17
配線図 .....	18



**警告**

マシンを操作する前に、このマニュアルを熟読し、十分に理解してください。

## 安全情報

### 排気ガスは有毒です。

エンジンを閉め切った場所で操作しないでください。短期間のうちに重大な事故を引き起こす可能性があります。エンジンは換気の良い場所で運転してください。

### 燃料は引火性が高く有毒性が高いです。

燃料補給時は必ずエンジンを停止してください。

喫煙中や火の近くでは絶対に燃料補給をしないでください。

燃料補給時にエンジンやマフラーに燃料をこぼさないように注意してください。

燃料を飲み込んだり、燃料の蒸気を吸い込んだり、目に入った場合は直ちに医師に相談してください。皮膚や衣服に燃料がこぼれた場合は、直ちに石鹸と水で洗い、服を着替えてください。

本機器が直立した状態で操作または輸送ください。傾いていると、キャブレターや燃料タンクから燃料が漏出される可能性があります。

### エンジンとマフラーが熱くなる可能です。

歩行者や子供が触れない場所に本機を置いてください。

運転中は、排気口の近くに可燃物を置かないでください。

本機器を建物または他の機器から少なくとも1m(3フィート)離してください。

エンジンが過熱する恐れがあります。

エンジンをダストカバーが付けられた状態で運転しないでください。

発電機を持ち運ぶとき、必ず持ち運び用取っ手で持ち運んでください。

機械を平らな地面に置いてください。

### 電気ショック防止

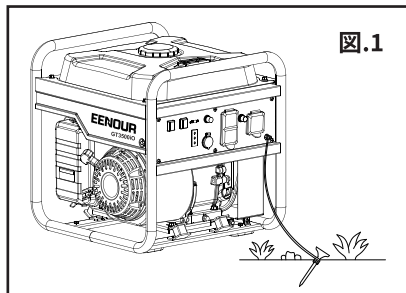
雨や雪の中でエンジンを操作しないでください。

濡れた手で本機器に触れないでください。感電の原因となります。

発電機は必ず接地(アース)してください。図.1

## 注意

十分な電流容量のある接地(アース)線を使用してください。  
直径: 0.12mm(0.005インチ)/アンペア  
例: 10 アンペア--1.2mm(0.055インチ)



## 接続に関する注意事項

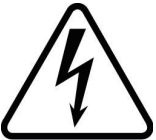
発電機を商用電源コンセントに接続しないでください。

発電機を他の発電機と並列に接続しないでください。

## 安全シンボル



注意 - ユーザーは一般的な危険に注意する必要があります。



危険な電圧です。



可燃です。

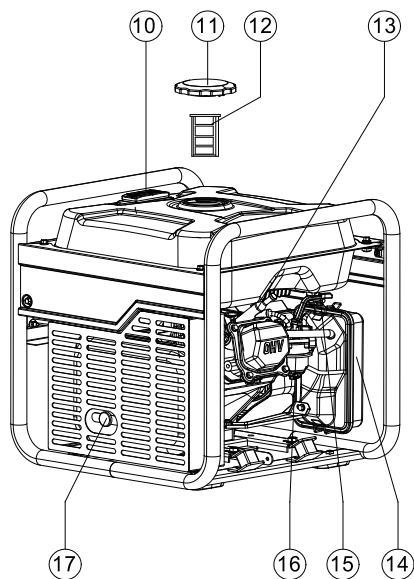
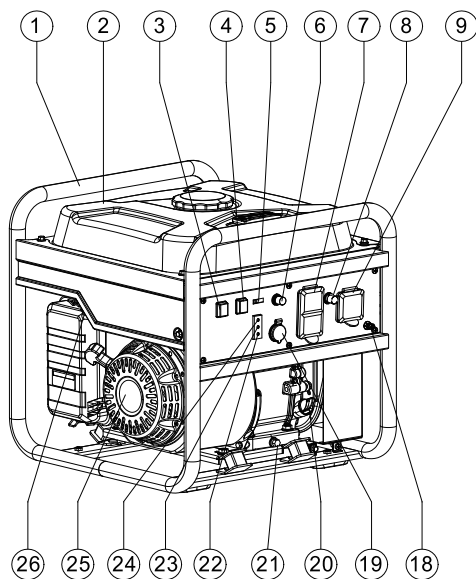


熱い表面 - 触れないでください。

# コントロール機能

## 各部名称

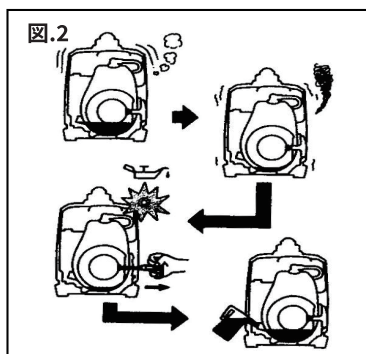
(1) 持ち運び用取っ手	(2) 燃料タンク	(3) エコスイッチ
(4) エンジンスイッチ	(5) 周波数切替スイッチ	(6) DC プロテクタ
(7) ACプラグアダプター 5-20R	(8) AC プロテクタ20A	(9) AC プラグアダプター L5-30R
(10) 燃料表	(11) 燃料タンクキャップ	(12) 燃料フィルタ
(13) 点火プラグ	(14) エアフィルター	(15) チョークボタン
(16) キャブレター	(17) マフラー	(18) 接地(アース) 端子
(19) DC 12V 出力	(20) オイルレベルゲージ	(21) オイル排出口
(22) 出力ランプ	(23) 過負荷ランプ	(24) 低オイル警告ランプ
(25) リコイルスターター	(26) 燃料コック	



## オイル警告システム

オイルレベルが下限レベルより低くなると、エンジンは自動的に停止します。オイルを補充しない限り、エンジンは再始動しません。

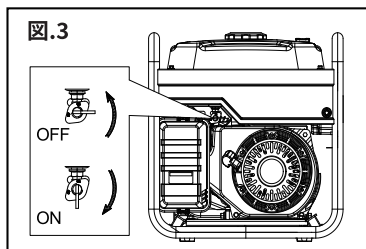
図.2



## 燃料コックスイッチ

燃料コックはタンクからキャブレターへ燃料を供給するために使用されます。

図.3



## エンジンスイッチ

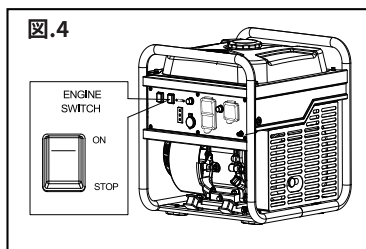
エンジンスイッチはイグニッションシステムを制御するために使用されます。図.4

### ① ON

点火回路がオンにされ、燃料コックが開かれます。エンジンを始動できます。

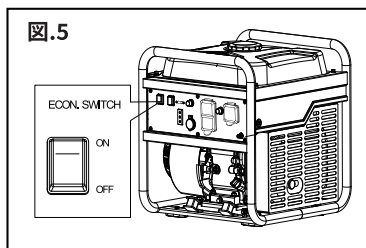
### ② STOP

点火回路がオフにされ、燃料コックが閉じられます。エンジンは作動しません。



## エコノミーコントロールスイッチ

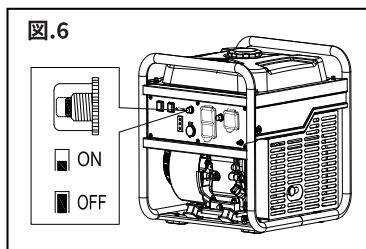
エコノミーコントロールスイッチをONにすると、エコノミーコントロールユニットは接続負荷に応じてエンジン回転数を制御します。結果、燃費が向上し騒音も減少します。図.5



## 復帰式過熱保護ボタン

モータの過熱保護装置付きのスイッチです。DCプロテクタとACプロテクタ20A二つがあります。

過電流や過電圧状態が長く続き温度が高くなったような場合、過熱保護機能により出力を遮断し、破壊を防ぎます。図.6



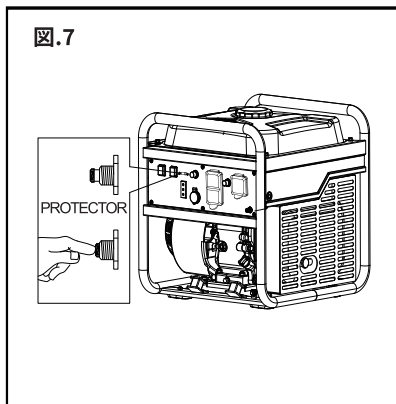
## 復帰式過熱保護ボタン

復帰式過熱保護ボタンがOFF(閉)になった場合は、使用する電気機器は発電機の定格出力内に減らしてください。復帰式過熱保護ボタンを押してON(開)になったら、再度起動してください。図.7

## 運転前の確認

### 注意

発電機を使用する前に、運転前のチェックを毎回実施する必要があります。



## エンジン燃料の確認

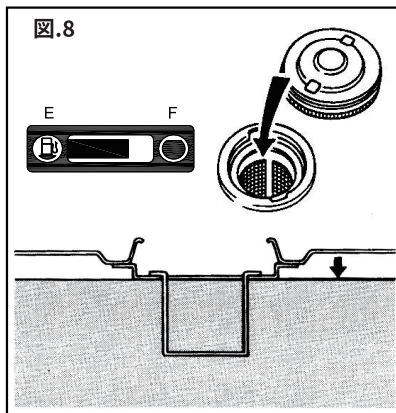
燃料タンクに十分な燃料があることを確認してください。

燃料が少ない場合は、無鉛自動車用ガソリンを補給してください。

燃料フィルターネックに、必ず燃料フィルタースクリーンを使用してください。

推薦燃料:無鉛ガソリン。

燃料タンクの容量:12L



## 警告

エンジンの運転中または熱い間に燃料補給を実施しないでください。

燃料を補給する前に燃料コックを閉じてください。

ほこり、汚れ、水、またはその他の異物を燃料に入れないようにご注意ください。

燃料を補給するとき、燃料を燃料フィルターの上部を超えないようにしてください。

燃料がその後の加熱によって膨張したときにあふれる可能性があります。

エンジンを始動する前にこぼれた燃料を完全に拭き取ってください。

火気を近づけないでください。

## エンジンオイルの確認

エンジンオイルが給油口の上のレベルラインにあることを確保してください。必要に応じてオイルを補給してください。

図.9

オイルフィルターキャップを取り外して、エンジンオイルのレベルを確認します。

オイルレベルが下のレベルラインより低い場合は、上のレベルラインに達するように適なオイルを補充してください。オイルレベルを確認するとき、オイルフィルターキャップをねじ込まないでください。

汚れている場合はオイルを交換してください。

オイル容量: **0.50L**

推薦されるエンジンオイル:

API サービス「SJ」 図.10

図.9

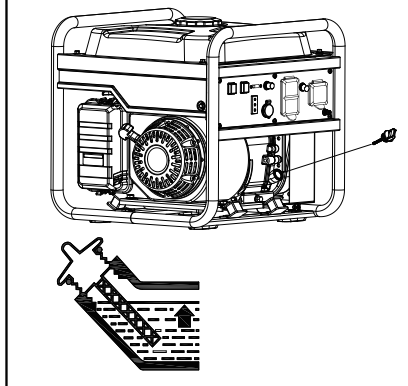
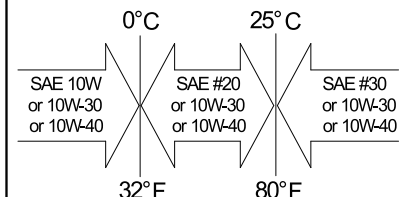


図.10



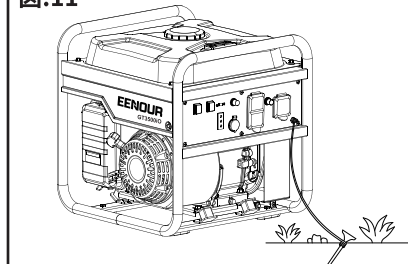
## 接地 (アース)



警告

発電機を使用する前に、ワイヤと小さな金属製アーススパイクを使って、発電機を正しくアースすることをお勧めします。ワイヤとアーススパイクはユニットに付属していません。図.11

図.11





# 操作

## 注意

発電機はエンジンオイルなしで出荷しています。オイルを充填しないと、発電機が始動しません。使用前にエンジンオイルを給油して下さい。エンジンオイルを充填するときに発電機を傾けないでください。発電機を傾斜すると、オイルの過充填やエンジンの損傷につながる可能性があります。

## エンジンの始動

## 注意

エンジンを始動する前に、電気機器を接続しないでください。

1. 燃料コックレバーを「ON」の位置に回します。図.13

2. エンジンスイッチを「ON」の位置に押しします。

3. チョークレバーを  CHOKEの位置に回します。

エンジンが暖かい場合、この操作は必要ありません。図.15

4. 抵抗力が感じられるまでスターターハンドルをゆっくりと引きます。これが「圧縮」のポイントです。ハンドルを元の位置に戻して、急速に引きます。ロープを完全に引き出さないでください。始動後、ハンドルを持ったままスターターハンドルを元の位置に戻します。リコイルスターターを引くときに発電機が転倒しないように、持ち運び用の取っ手をしっかりとつかんでください。図.16

5. エンジンを暖めます。

6. チョークレバーを  RUN位置に戻します。図.17

7. 無負荷でエンジンを数分間暖機します。

図.13

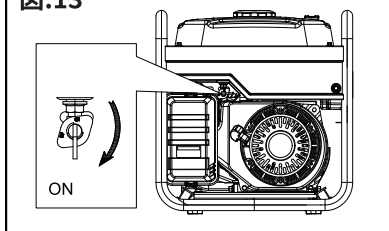


図.14

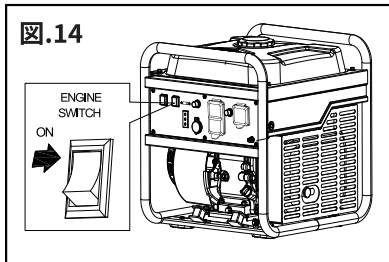


図.15

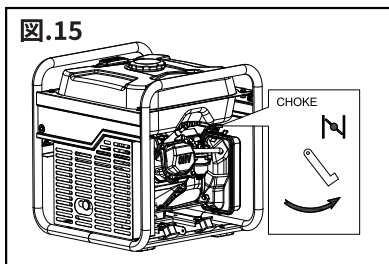


図.16

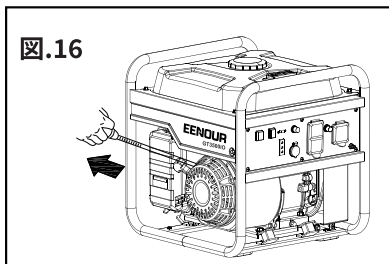
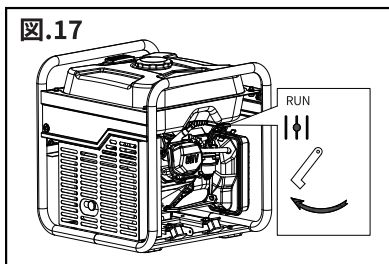


図.17

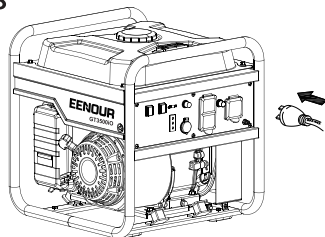


# 出力電力の利用

## 1. AC出力の利用

- ACパイロットランプで適切な電圧を確認してください。
- 発電機に接続する前に、電化製品の電源スイッチをオフにしてください。
- 電化製品のプラグをコンセントに差し込みます。**図.18**

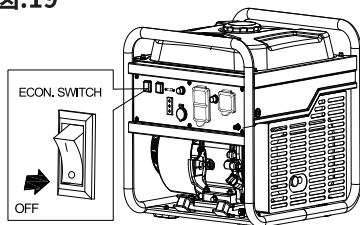
図.18



## 注意

接続する前に電気機器の電源が切れていることを確認してください。総負荷が発電機の定格出力以内であることを確認してください。ソケットの負荷電流がソケットの定格電流以内であることを確認してください。圧縮機や水中ポンプなど、大きな始動電流を必要とする電気装置に電力を供給する場合は、エコノミーコントロールスイッチをOFFにする必要があります。 **図.19**

図.19

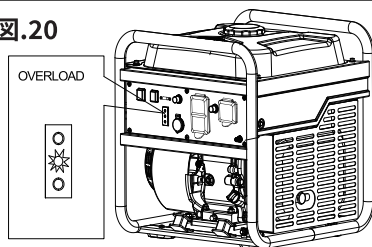


## 2. 過負荷表示灯

過負荷表示灯は接続されている電気機器の過負荷やその他の異常により点灯されます。負荷を通常の範囲に下げただけで、過負荷表示灯が消灯します。 **図.20**

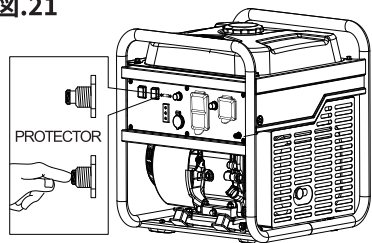
もし発電機が過負荷状態になったとき、もしくは接続している電気機器との間に短絡が発生した時、発電機と電気機器を保護するために、電子回路ブレーカが作動して出力を停止します。出力インジケータランプ(緑)が消灯し、過負荷警告灯(赤)が点灯します。以下のような手順によって処理します。 **図.20**

図.20



- すべての電気機器との接続を切断します。
- 電気機器の総電力を許容範囲内に減らします(過負荷表示灯は点灯しません)。
- 空気取り入れ口の周りやマフラーの排気口に障害物がないかを確認します。障害物がある場合、障害物を取り除きます。復帰式過熱保護ボタン **図.21**

図.21



## 注意

エンジンが停止され再始動されると、発電機のAC出力が自動的にリセットされます。圧縮機や水中ポンプなど、大きな始動電流を必要とする電気機器に電源を供給する場合、過負荷表示灯は、最初の数秒間で点灯することがありますが、故障ではありません。

## DC の利用 (オプション)

この利用は12Vバッテリー充電にのみ適用されます。

### (a) バッテリーの充電方法

バッテリーのリード線を外します。

バッテリー液フィルターキャップを完全に緩めます。

電池液量が少ない場合は、蒸留水を上限まで入れます。

比重計を使用してバッテリー液の比重を測定し、右側の表に従って充電時間を計算します。

満充電された電池の比重は1.26から1.28の範囲内です。充電中の電池の比重を1時間ごとに確認することをお勧めします。**図.22**

(b) DC出力ソケットとバッテリー端子間に充電用導線で接続します。(+)と(-)の極性を確認した上で、リード線を接続します。**図.23**

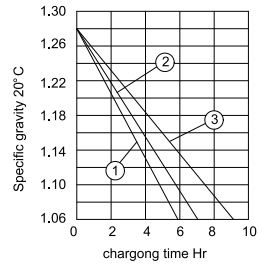
(c) 接続を確認した後、DC回路プロテクタが「OFF」になっている場合、「ON」に設定する必要があります。**図.24**

## 注意

充電中は必ずエコノミースイッチを「OFF」にしてください。

**図.22**

Aim for specific gravity and charging time



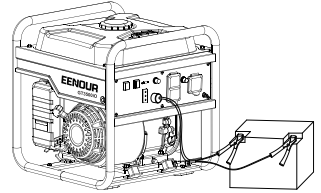
Battery capacity

1. 30AH 20HR

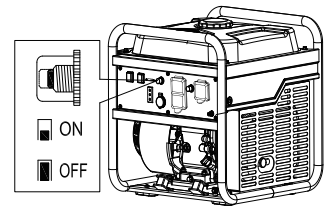
2. 35AH 20HR

3. 47AH 20HR

**図.23**



**図.24**



## エンジンの停止

1. 電気機器の電源スイッチを切るか、または電気機器との接続を切断してください。図.25
2. エンジンスイッチを「STOP」の位置に押します。図.26
3. 燃料コックレバーを「OFF」にします。図.27

図.24

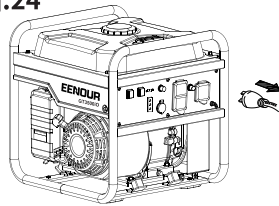


図.25

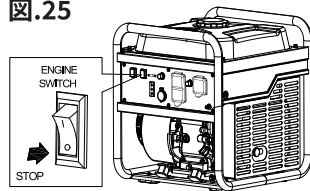
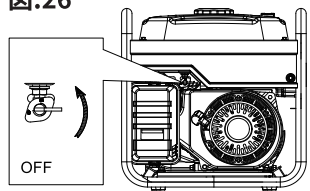


図.26



# 定期メンテナンス

## メンテナンスチャート

アイテム	摘要	運転前 の確認 (毎日)	最初の 1ヶ月ま たは20H	3ヶ月 または 50Hごと	6ヶ月 または 100Hごと	12ヶ月 または 300Hごと
点火栓	状態を確認して、ギャップを調整し、きれいにします。必要ならば新品に交換してください。			●		
エンジンオイル	オイルレベルを確認します	●				
	交換		●		●	
エアフィルター	オイルフィルターを清潔します			●		
燃料フィルター	燃料フィルターを清潔します。				●	
チョーク	チョーク操作を確認します	●				
バルブクリアランス	エンジンが冷えているときにバルブクリアランスを確認して調整します。					●
燃料ライン	燃料ホースに亀裂や損傷がないことを確認します。必要に応じて新品に交換してください。	●				
排気システム	漏れがないことを確認します。必要ならばガスケットを締め直すか、または新品に交換します。	●				
	マフラスクリーンを確認します。必要に応じて清掃/交換してください。					●
キャブレター	チョークの動作を確認します。	●				
冷却システム	ファンの損傷を確認します。					●
始動システム	リコイルスターターの操作を確認します。	●				
アイドルスピード	エンジンのアイドルスピードを確認し調整します。					●
フィッティングとファスナー	必要に応じてすべてのフィッティングとファスナーに問題がないことを確認します。				●	
クランクケース ブリーザ	ブリーザホースに亀裂や損傷がないことを確認します。必要ならば新品に交換する。					●
発電機	パイロットライトが点灯することを確認します。	●				

最高のパフォーマンスと安全な操作を確保するために、定期的なメンテナンスは最も重要です。

## エンジンの停止

1. 発電機を平らな場所に置き、エンジンを数分間作動させ、暖めます。次に、エンジンを停止し、燃料コックノブを「OFF」にします。

2. エンジンの下にオイルパンを置きます。オイルフィルターキャップとオイル排出口をゆるめてはずしておきます。

図.28

3. 発電機を傾けてオイルを完全に排出します。

4. 発電機を再度に平らな平面に置きます。

5. エンジンオイルが上のレベルラインに達するまで、補給します。図.29

6. オイルフィルターキャップを取り付けます。

推薦されるエンジンオイルAPI サービス「S」図.30

### 注意

異物がクランクケースに入らないようにしてください。エンジンオイルを添加するときに発電機を傾けないでください。過充填やエンジンの損傷につながる可能性があります。

図.28

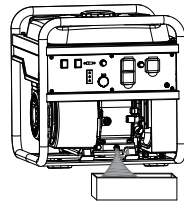


図.29

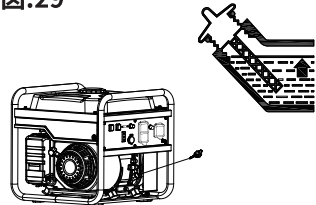


図.30

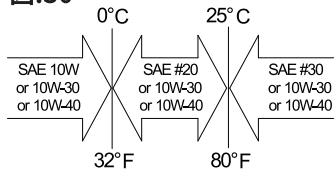
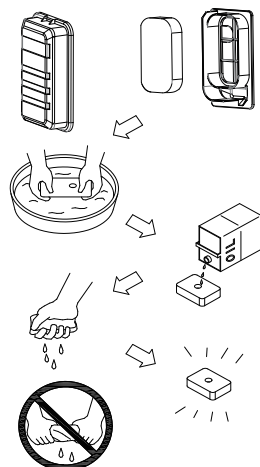


図.31



### 注意

フィルターエレメントがない状態で、エンジンを絶対に始動しないでください。過度のピストンおよび/またはシリンダーの磨耗が起こる可能性があります。

## 点火栓の清潔および調整

1. カバーを取り外します。
2. 変色を確認してカーボンを取り除きます。図.32
3. 点火栓の種類とギャップを確認します。
4. 点火栓を取り付けます。

### 注意

標準電極色：タンカラー。  
標準点火プラグ：F7RTC (TORCH)  
点火プラグギャップ：0.6-0.7 mm  
(0.024-0.028インチ)

図.32

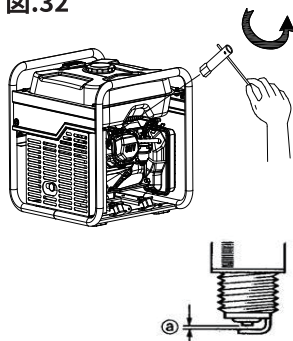
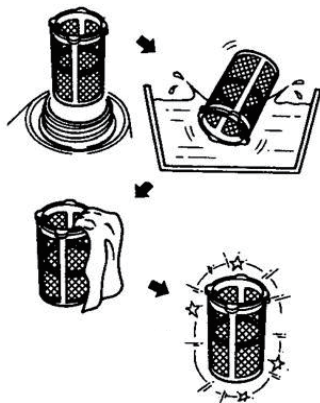


図.33



## 燃料タンクフィルター

1. 燃料タンクのキャップとフィルターを取り外します。図.33
2. フィルターを溶剤で拭き、清潔します。損傷している場合は新品に交換してください。
3. フィルターを拭いて挿入します。

### 注意

タンクキャップがしっかり締められていることを確認してください。

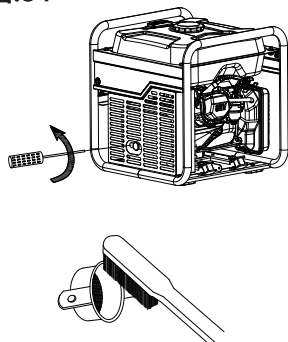
## 点火栓の清潔および調整

### 注意

エンジンが作動した後、エンジンとマフラーは非常に熱くなります。点検や修理の際は、エンジンがまだ熱いうちに身体や衣服のあらゆる部分でエンジンやマフラーに触らないでください。

1. Uマイナスドライバーを使用して、マフラーからスパークアレスタを外します。
2. ワイヤブラシを使用して、マフラスクリーンとスパークアレスタのカーボン堆積物を取り除きます。図.34  
マフラスクリーンを取り付けます。

図.34



# トラブルシューティング

## エンジンが始動しません

### 1. 燃料システム

燃焼室に燃料が供給されていません。

燃料タンクに燃料がありません.....燃料を補給してください。

燃料タンクに燃料があります.....燃料タンクキャップのエア抜きノブを**OPEN**にして、燃料コックノブを**ON**にしてください。

燃料ラインが詰まっています.....燃料ラインを清潔してください。

キャブレターが詰まっています.....キャブレターを清潔してください。

### 2. エンジンオイルシステム

オイル不足

オイルのレベルが低いです.....オイルを添加してください。

### 3. 失火している

点火プラグがカーボンで汚れているか濡れています.....カーボンを取り除くか、点火プラグを拭いて、乾燥します。

点火システム不良.....販売店にご相談ください。

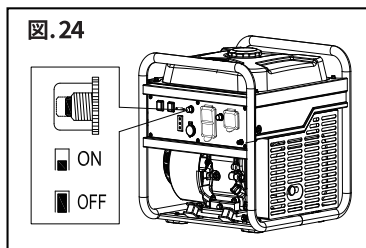
### 4. 圧縮効率低下

ピストンとシリンダーの磨耗.....販売店にご相談ください。

## エンジンが始動しません

安全装置 (AC) が「オフ」になっています.....エンジンを停止し、再始動してください。

安全装置 (DC) が「オフ」になっています.....エンジンを停止し、再始動してください。





# 保管

本発電機を長い期間に渡って保管する場合は、劣化を防止するための予防措置が必要です。

## 燃料の排出

- 1.燃料タンクを取り外します。燃料タンクから燃料を排出します。
- 2.カバーを取り外します。ドレンスクリューを緩めてキャブレターから燃料を排出します。  
エンジン
- 1.点火プラグを取り外し、SAE 10W30または20W40のモーターオイル約1杯を点火プラグの穴に注ぎ、点火プラグを取り付けます。
- 2.リコイルスターターを使用して、エンジンを数回回転させます（イグニッションオフの状態）。
- 3.抵抗力を感じるまでリコイルスターターを引きます。
- 4.引き動作を停止します。
- 5.発電機の外側を清潔し、防錆剤を塗ります。
- 6.発電機をカバーで覆って、乾燥した換気のよい場所に保管します。
- 7.発電機は直立姿勢に保って下さい。

## 保証期間およびお問い合わせ

- 本製品の保証期間はご購入日より1年間となります。
- 本製品の仕様は予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。
- 本製品は使用電子部品の製造中止で、生産及び販売終了となる場合があります。予めご了承ください。
- 本製品のお問い合わせについて、故障など疑われる場合は、次のことをお知らせ下さい。
  - ・ お買い上げ時期
  - ・ ご注文番号と商品の型番
  - ・ 故障の状況（できるだけ詳しくご説明ください。）
- ご不明な点や故障に関するご相談は、ご購入の販売店、または下記営業窓口にお問い合わせください。

輸入総発売元：株式会社MK JAPAN

電話：050-4560-1179

メール：support@eenour.com

受付時間：10：00-13：00、14：30-18：30（土・日曜、祝祭日・年末年始および当社指定休業日は除く）

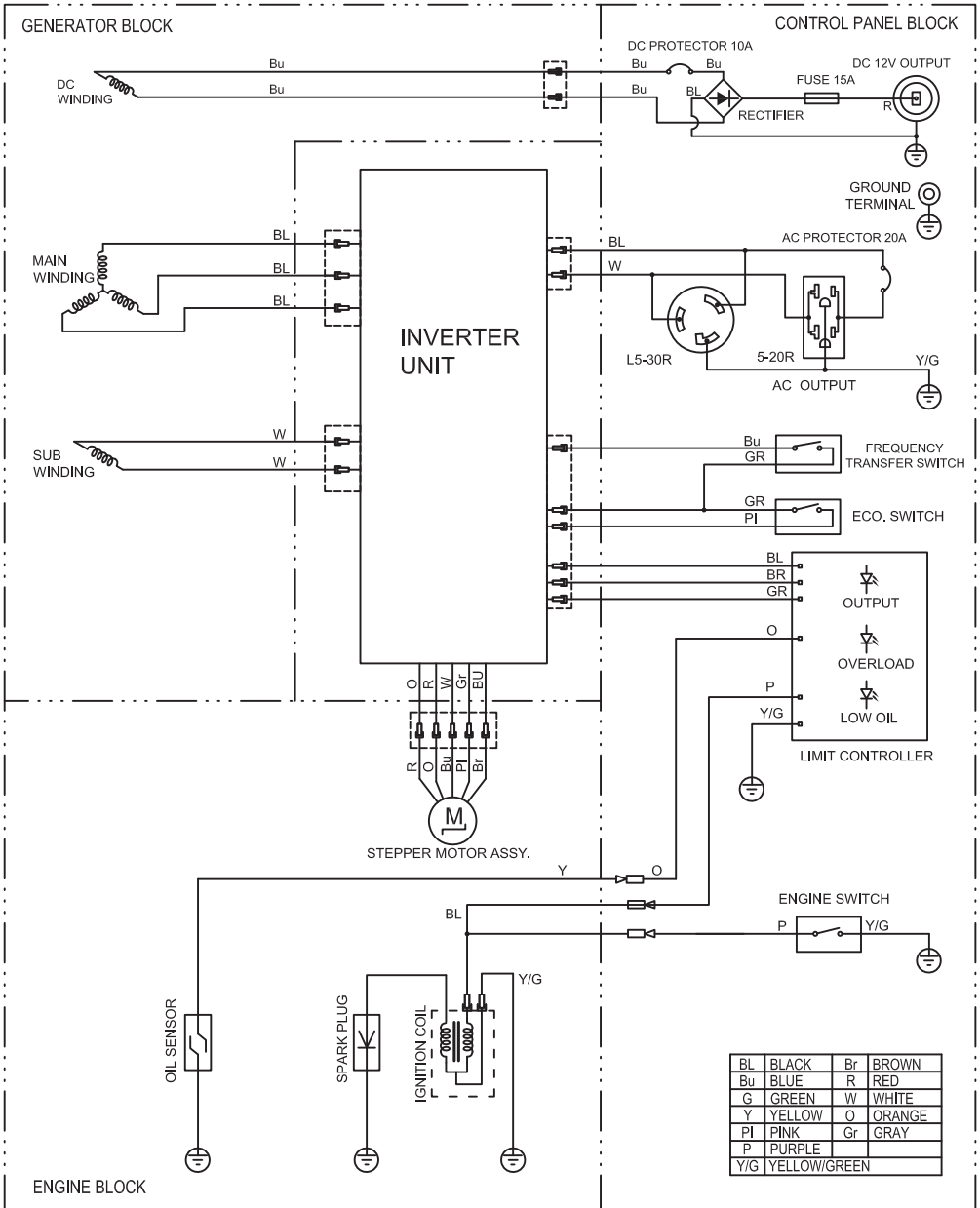
# 仕様

モデル		3500iO		
発電機	タイプ			
	AC電圧	220V,230V,240V	120V	100V
	周波数	50Hz	60Hz	50Hz / 60Hz
	最大出力	3.3 kW	3.1 kW	3.1 kW
	定格出力	3.0 kW	2.8 kW	2.8 kW
	力率	1.0		
	DC 出力	12V / 8.0A		
エンジン	モデル	XY170F-2		
	タイプ	空気冷却、4ストローク、OHV、ガソリンエンジン		
	ボア×ストローク mm×mm	70×54		
	排気量	208 cc		
	最大出力	4.0KW / 3800rpm		
	燃料	普通自動車ガソリン		
	燃料タンク容量	12.0リットル		
	定格連続運転時間	6時間 (100%負荷)		
	潤滑オイル	SAE 10W30		
	潤滑オイル容量	0.50 リットル		
	始動システム	リコイルスターター		
	点火システム	C.D.I.		
点火プラグ:タイプ	F7RTC (TORCH)			
寸法	本体寸法 L×W×H	445×425×445 mm		
	全体寸法 L×W×H	460×440×460 mm		
	正味重量	32.5Kg		
	総重量	34.0 Kg		

仕様は予告なしに変更されることがあります。

# 配線図

3500i O(230V)



✉ E-mail: support@**eenour**.com

